

SUNSTAR

抗菌成分
柔軟仕上剤
配合

大切な衣類の
セルフクリーニング洗剤

つけ込み洗い
だから安心

わずか **3** 分

DRY·UP

ドライアップ

【お洗濯マニュアル】

目次

1. ドライアップで洗えるかチェック ①~②
2. お洗濯方法 ③~④
3. 洗い方、干し方 ⑤~⑥
4. ダウンジャケットの洗い方 ⑦
5. 絹のブラウス・シャツの洗い方 ⑧
6. 毛布、うす手の布団の洗い方 ⑨
7. カーテンの洗い方 ⑩
8. ジャケットの洗い方 ⑪~⑫
9. レーヨン類混紡衣料の洗い方 ⑬
10. Q&A ⑭~⑮

ドライアップで洗えるかチェックしましょう

セーター カーディガン	ブラウス シャツ、ワンピース	スラックス スカート	学生服 セーラー服	ダウンジャケット	毛布 薄手の布団	カーテン	ジャケット ブレザー・スーツ

STEP1 衣類についている取扱い表示(タグ)を確認しましょう

従来表示	新表示	いずれかの マークがついている	→洗えます(③~④ページへ)
従来表示	マーク(水洗いできない)がついている		→洗えるものもあります (STEP2へ)
新表示	マーク(家庭洗濯禁止)がついている		→洗えません
取扱い表示がない、マークがついていない			→洗えません

※衣類の取扱い表示は2016年12月より変わりました。
③ページを参照してください。

STEP2 素材・生地や特殊な加工を確認しましょ う

<ul style="list-style-type: none"> ●レーヨン、キュプラ、ポリノジック製品、その混紡品 (ただし、上記繊維とポリエステル混紡品でポリエステルが50%以上の 衣料は洗えます。詳しくは③ページへ) 	→洗えません
<ul style="list-style-type: none"> ●和服、和装小物 ●皮革、毛皮製品 ●起毛して光沢を重視する素材を使っている衣料(ベルベット、別珍、スエードなど) ●強くねじった糸を使っているクレープ、ジョーゼット、ちりめんなど ●エンボス加工、しわ加工、凸凹加工などがされている衣料 ●型崩れしやすい衣料(芯地を多く使ったコート、ジャケット、ネクタイなど) ●毛皮、フェイクファー等の装飾物をはずすことができない 衣料 	→洗えません
<ul style="list-style-type: none"> ●素材・生地や特殊な加工が上記に当てはまらない場合、洗えるものもあります 	→STEP3へ

※ジャケット、ブレザー、スーツはSTEP1確認後①~②ページへ

STEP3 色落ちを確認しましょう 特にプリント染め、極端な色使いの物は洗う前に必ずチェックしてください

[色落ち確認の方法] ※スカーフ及び 外国製の衣類は色落ちしやすいものがありますので十分注意してください。

① 色落ちしそうな部分(裏地のない目立たないところ)に白いタオルをしき、ドライアップの原液をつけます。

② 1~2分後に別のタオルで強く押さえ、下にあてたタオルへの着色(色落ち)を確認します。

色落ちする衣類は洗えません。
色落ちがない場合、③~④ページ お洗濯方法へ

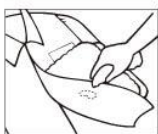
①

②

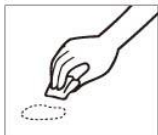
お洗濯方法 必ず①～②ページを チェックし、洗える衣類が確認しましょう

お洗濯の前に

シミ汚れ等の前処理方法



- ①シミや汚れのひどい部分を裏返し、白いタオルをあてます。
- ②ぬれタオルなどで、シミや汚れの周囲をぬらし、輪ジミを防ぎます。
- ③ドライアップの原液を汚れにつけ、コットンや柔らかなブラシでたたきます。



※絹衣料の場合は、必ずコットンでたたいてください。
※エリ、そで、わき、すそなど気になるところもチェック。

このようなシミや汚れはドライアップでは落とせません

- 日光で黄変、変色したもの
- 汚れてから日数の経ちすぎたもの
- 化学変化したもの(パーマ液、塩素系漂白剤など)
- 鉄さび、カビ、墨汁、インキ

大切に洗うためのポイント

- POINT 1** ファスナーやホックは閉じましょう。ボタンがある場合はボタンを留めましょう。
- POINT 2** デリケート素材、プリント・装飾があるもの、色の濃いものは裏返ししましょう。
- POINT 3** 絡まり、引っかかり、飾りが取れる心配のあるものなどは、1枚ずつ洗濯ネットに入れましょう。
- POINT 4** 洗濯ネット・洗濯桶などの大きさに合わせて衣類はきれいにたたみましょう。たたんだ状態を最後まで保つことで、伸び・ヨレ・縮み・型くずれ・摩擦を防ぎます。

洗濯液のつくり方

■使用量の目安

水30Lに対し30mL(水1Lに対し1mLの割合)
計量キャップ目盛り30mLの線まで



■必ず新しい水を使用してください

- 液温(水温)は30℃以下で(縮みや型崩れを防ぐため)
- お湯、風呂の残り湯、1回使用した洗濯液は使用しないでください。

※洗濯機で洗う場合は、洗濯機の取扱説明書にしたがい洗濯をしてください。

衣類の種別洗い方目次

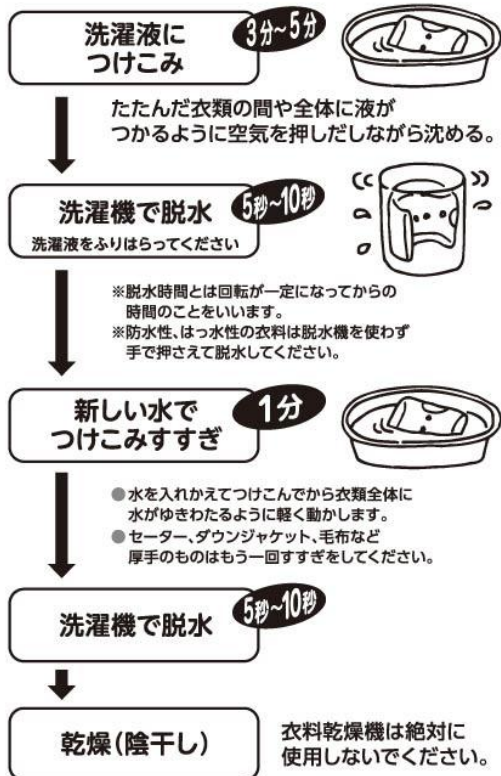
アイテム	セーター カーディガン	ブラウス シャツ ワンピース	スラックス スカート	学生服 セーラー服	ダウン ジャケット	シルクの ブラウス シャツ	毛布 薄手の布団	カーテン	ジャケット ブレザー スーツ
洗濯手順	5～6ページ			7ページ	8ページ	9ページ	10ページ	11～12ページ	

3

4

洗い方

つけこみ洗濯の手順



洗濯機で洗う場合

- 洗濯機の最も弱い洗い方(洗濯機メーカーにより、手洗いコース、ドライコース、おうちクリーニングコースなど呼び方はさまざま)を選び、洗濯機の取扱説明書にしたがいお洗濯してください。
 - 「つけおき洗い」「送風乾燥」「乾燥」コースは使わないでください。
- POINT** 洗濯槽に水がたまったら衣類を手で数回押し込みきちんと洗濯液に浸かっているか確認しましょう。

5

干し方

- 伸び、型くずれ、色あせ等を防ぐために
 - ・直射日光を避けた日陰で干してください。
 - ・色あせしやすい衣類は裏返して干してください。
 - ・平干しネットやハンガーを使い、重さを分散させましょう。
- 干す時に、手でたたいてシワを取っておくと、仕上げのアイロンがけが楽になります。
- セーター類は洗う前に形をうつしとり、「型紙」を用意しておきましょう。干すときに、その型紙をもとに生地を整えて干すと、縮みなどを防ぐことができます。

※衣類乾燥機、洗濯機の乾燥コースは使用しないでください。

- セーター、カーディガン① 伸びやすいので平干し(平干しネットがおすすめ)
- セーター、カーディガン② 平干しできない時はハンガー干し



お風呂のふたにタオルを敷いたもので代用できます。



ハンガーを2~3本使って衣料の重さを分散させます。

- うす手のしわになりやすいもの 平干しまたはハンガー干し
- スカート、スラックス 型を整えてハンガー干し(伸びやすいものは平干し)



タオルドライして生乾きの時にあて布をしてアイロンをかけると小ジワが付きにくくなります。



プリーツなどのひだがとれやすいものは、前もってしつけ糸で留めて洗濯し、乾いてからとりまします。

雨の日など乾きにくいときのひと工夫

衣料の間にすきまをつくりまします。



スカートは裏返してピンチハンガーで筒状に干します。



ブラウスは肩に厚みのある洗濯物干し用のハンガーや、肩部にタオルを巻きつけたハンガーで干します。

6

ダウンジャケットの洗い方

クリーニングにだす時にかさばり、費用もかかるダウンジャケットなどもつけこみ洗いで、型くずれの心配もなく、中綿もふんわり仕上がります。

1.色落ち確認

①、②ページに記載の「色落ち確認の方法」にしたがって、確認してください。

2.汚れのひどい部分はブラシで前処理

③、④ページに記載の「シミ汚れ等の前処理方法」にしたがってください。とくに汚れた部分は、汚れに原液をつけブラシでたたきます。



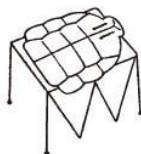
3.軽くたたんで、つけこみ洗い

衣類全体がつかれるよう、空気を抜きながら押し洗めます。このとき採まれないこと。ダウンが固まり、型くずれの原因になります。



きれいに仕上げる(干す)ためのポイント

POINT 1 風通しのいいところで干します。水を含んで重くなっているので、ハンガーよりも平干しネットなど平らなところで干すほうが、型くずれを防ぐことができます。お風呂のふたにタオルをしいたのもでも代用できます。



POINT 2 乾きかけた時に、手でかたよったダウンをほぐし、均等におきます。さらに乾かして、全体をポンポンとたたいてふくらみを戻せば仕上がります。洗濯により「はっ水・防水機能」が低下する恐れがありますので、洗濯後は再度はっ水・防水加工を施してください。

7

絹のブラウス・シャツの洗い方

大切にしたい絹のお洗濯。つけこみ洗いで、汗の汚れもスッキリおとし、しなやかに仕上がります。

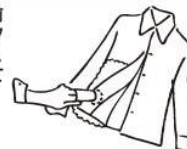
1.色落ち確認

①、②ページに記載の「色落ち確認の方法」にしたがって、確認してください。

2.シミや汚れのひどい部分はコットンで前処理

③、④ページに記載の「シミ汚れ等の前処理方法」にしたがってください。ぬれタオルなどで、シミや汚れの周囲をぬらし、輪ジミを防ぎます。汚れに原液をつけてコットンでたたきます。

※傷みの原因となりますので、決してこすらないでください。



3.軽くたたんで、つけこみ洗い



きれいに仕上げる(干す)ためのポイント

POINT 1 バスタオルの上に衣類をのせ、型をととのえてから、さらにバスタオルをかぶせ、軽く押しつけて水分を取ります。脱水しすぎないのが、洗濯後のシワを防ぐコツです。



POINT 2 両肩をつかんで振りさばき、全体の小ジワを取ります。襟やそで、すそを軽く引っ張り、型をととのえて干します。



POINT 3 干してからおよそ1時間半くらいの生乾きのときにあて布をして中温(140~160℃)でドライアイロンをかけると、小ジワが付きにくく、きれいに仕上がります。乾きすぎてしまっていたら、霧吹きでもう一度湿らせてください。

8

毛布・うす手の布団 (夏掛け、こたつ、子供・ベビー布団) の洗い方

汗汚れや皮脂、アレルギーの原因となるホコリやダニのつきやすい毛布や布団は、水洗いがいちばん。汚れやニオイもスッキリおちて、ふんわり仕上がります。

1. 色落ち確認

①、②ページに記載の「色落ち確認の方法」にしたがって、確認してください。

2. 掃除機やふとんたたきでほこりを払う



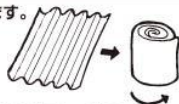
3. 汚れのひどい部分はブラシで前処理

③、④ページに記載の「シミ汚れ等の前処理方法」にしたがってください。とくに汚れた部分は、汚れに原液をつけブラシでたたきます。



4. 屏風たたみにして、丸めて、つけこみ洗い

屏風たたみにして、丸めて洗濯機へ入れます。全体がつかれるよう、空気を抜きながら押し洗ってください。



洗濯機に入らない場合は、お風呂場の浴槽を利用して洗うことができます。この場合、脱水は浴槽のせんを抜き、ある程度水が抜けたら浴槽のふちにかけて、自然に脱水してください。



水滴が一定方向からおちるように、三角干しで干します。



布団は、乾きかけた時に手でかたよった中綿をほぐして均等にし、ふくらみを戻せば仕上がります。毛布は、パイル(毛なみ)の方向に軽くブラッシングしてください。

9

カーテンの洗い方

ナイロンやポリエステルなどのレース、化繊と綿の混紡生地のカーテンなら、つけこみ洗いで洗えます。汚れやくすみもスッキリおちて、お部屋がみちがえるほど明るくなります。

1. 素材・寸法変化率の確認

あらかじめ表示されている寸法変化率を確認してください。初めて水洗いするときは、その分だけ縮みます。レーヨン・レーヨン混紡や、オーダー品など取扱説明表示がなく素材や寸法変化率がわからないときは洗わないでください。

2. 色落ち確認

①、②ページに記載の「色落ち確認の方法」にしたがって、確認してください。

3. 掃除機やふとんたたきでほこりを払う

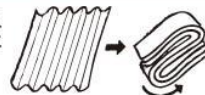


4. 汚れのひどい部分はブラシで前処理

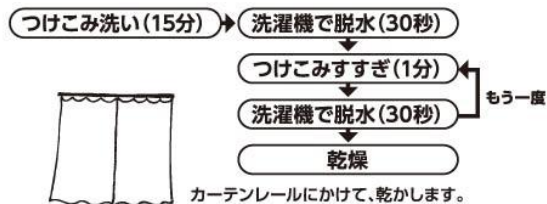
③、④ページに記載の「シミ汚れ等の前処理方法」にしたがってください。とくに汚れた部分は、汚れに原液をつけブラシでたたきます。

5. 屏風たたみにして、つけこみ洗い

屏風たたみにして、丸めて洗濯機へ入れます。まず縦に屏風たたみ、さらに横にも屏風たたみにします。



洗濯機に入らない場合は、お風呂場の浴槽を利用して洗うことができます。この場合、脱水は浴槽のせんを抜き、ある程度水が抜けたら浴槽のふちにかけて、自然に脱水してください。



カーテンレールにかけて、乾かします。

10

ジャケット(スーツ、ブレザー など)の洗い方

洗えるジャケットを見分ける

STEP1 「①、②ページのSTEP1」をもとに衣類についている取扱絵表示(タグ)を確認しましょう。

STEP2 下の表をもとに素材を確認しましょう。

洗える素材

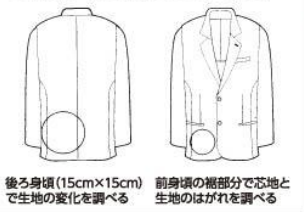
- 表地、裏地にレーヨン、キュプラ、ポリノジック、絹が含まれていないもの
- 表地が天然繊維(毛・綿・麻)70%以下のもの
- オーダー品でないもの

素材の例 ○洗えます ×洗えません

表地	毛50% ポリエステル50%	ポリエステル 100%	毛50% ポリエステル50%	毛100%
裏地	ポリエステル	ポリエステル	キュプラ	ポリエステル
	○	○	×	×

STEP3 生地・芯地テスト

後ろ身頃および前身頃の一部を濡吹き(水)で十分濡らせ(生地の色が変わる程度)、10分後の生地の状態をチェックします。



生地が波打つ、シワがよるなど表面変化をおこしたものは

洗えません

(直し方)
乾燥後、あて布をしてアイロンプレスすれば、元の状態に戻ります。

STEP4 色落ち確認をする

①、②ページの「色落ち確認の方法」にしたがって、確認してください。

色落ちするものは

洗えません

STEP1~4のチェックがすべてOKであればジャケットのお洗濯はできます。

11

1. 汚れのひどい部分はブラシで前処理

③、④ページに記載の「シミ汚れ等の前処理方法」にしたがってください。とくに汚れた部分は、汚れに原液をつけブラシでたたきます。

2. きれいにたたんで、つけこみ洗い

つけこみ洗い(3分) → 洗濯機で脱水(5~10秒)



つけこみすぎ(1分)

洗濯機で脱水(5~10秒)

もう一度

乾燥(陰干し)

干し方



干す時は厚みがあり、肩幅の合ったハンガーを使い、手でたたいてシワをのばします。(左イラスト)

仕上げを楽にする干し方のポイント

- ①ハンガーにタオルで保形
- ②袖口にタオルで保形

仕上げのポイント

アイロンは生地から2~3cm浮かしてスチームをかける。シワが取れにくい場合は、あて布をしてスチームアイロンをかけます。



【そで】

バスタオルを丸めてそでの中に入れ、スチームをかけます。



【肩】

小さくたたんだタオルを片手に持ち、その上にパッド部分を置き、宙に浮かせてスチームをかけます。



【前身頃】

- バスタオルを下に敷き、ふくらみを出してスチームをかけます。
- ラベル(前エリ)のエリ山(折返し部分)にはアイロンをあてず、折り目をつけないようにします。

12

レーヨン類混紡衣料(スカート、スラックス、etc)の洗い方

水に入れると縮みややすいレーヨン類混紡衣料(☒ 従来表示のもの)も、生地素材によってはつけこみ洗いで洗えます。

洗えるレーヨン類混紡衣料を見分ける

衣料の素材を確認する

洗えるもの

- 絵表示で ☒ ☒ ☒ 従来表示 や ☒ ☒ ☒ 新表示のついた衣類
- ☒ 従来表示 は洗えるものもあります
- ポリエステルを50%以上含むレーヨン類混紡品

レーヨン類:レーヨン、ビスコース、キュプラ、ポリノジック

素材の例 ○洗えます ×洗えません

	①	②	③	④	⑤
表地	ポリエステル50% レーヨン50%	ポリエステル50% 綿20% レーヨン30%	ポリエステル70% レーヨン30%	ポリエステル30% トリアセート40% レーヨン30%	キュプラ70% ポリエステル30%
裏地	なし	ポリエステル100%	レーヨン100%	なし	ポリエステル100%
	○	○	×	×	×

③裏地がレーヨン100%のため。(ポリエステルが50%以上含まれていない)
④、⑤表地にポリエステルが50%以上含まれていない。

洗濯の手順

各種衣類の洗い方にしたがって洗濯してください。

新しい衣類の取扱い表示

5つの
基本記号



強さ(基本記号の下に付加)	温度(基本記号の中に付加)	禁止
線なし 通常の強さ 線1 弱い 線2 非常に弱い 線(-)が増えるほど弱くなります。	<記号によるもの> [●] [●●] [●●●] 低 中 高 例) 40 フォルム乾燥やアイロンの温度は(点)で表します。数が増えるほど温度は高くなります。	基本記号と組み合わせて、禁止を表します。

JIS(日本工業規格の表示)※衣類の取扱い表示は2016年12月より変わりました。詳細は消費者庁ホームページをご確認ください。http://www.caa.go.jp/

13

Q&A

Q1 ドライクリーニングとはどう違うのですか?

A. ドライクリーニングとは石油系、塩素系などの溶剤を使用して洗う方法です。ドライアップは溶剤ではなく水を使用します。

Q2 ウェットクリーニングとは何ですか?

A. ウェットクリーニングとはクリーニング店がデリケートな衣類を特殊な技術を使って水洗いし、専用の仕上設備やアイロンを使って仕上まで行う処理です。

Q3 なぜつけこみだけで汚れが落ちるのですか?

A. 油性の汚れ(皮脂や化粧品等)をグリコールエーテルで、水性の汚れ(汗やしょうゆ等)を水で落とし、界面活性剤で汚れを水中に浮かせます。

Q4 首や袖口の汚れが落ちにくいのですが?

A. 洗濯前に原液を付けて前処理を行ってください。ただし落とせないシミもありますので使用前に③、④ページに記載の「シミ汚れ等の前処理方法」をよくお読みください。

Q5 お湯や風呂の残り湯を使用してはダメですか?

A. 使用しないでください。洗濯時とすすぎ時の温度差や、お湯につけると天然繊維は膨張しやすくなるなど、縮みや型崩れの原因となります。また、風呂の残り湯は汚れが衣類に再付着する場合があります。

Q6 漂白剤や糊剤、柔軟剤を使ってもよいですか?

A. ①漂白剤(一般衣料用)は使用しないでください。②糊剤は使用できます。(最後のつけこみすすぎ時にご使用ください。)③柔軟剤は配合されていますが、追加でご使用することも可能です。(最後のつけこみすすぎ時にご使用ください。)

Q7 環境への影響はないですか?

A. 配合成分はどれも生分解性がよく、環境にも安心です。

14

Q8 衣類用乾燥機はなぜ使用できないのですか？

- A.** ウールやカシミアなどの動物性の繊維は、衣類どうしの摩擦により修復不可能なフェルト収縮が起こります。また、デリケートな絹繊維なども機械力だけで傷みも生じます。(フェルト収縮:ウールやカシミアなどの繊維の表面はうろこ状になっており水での洗濯でうろこが開いた状態となり、繊維どうしが絡み縮んでしまう現象。)

Q9 浴室暖房乾燥機は使用してもいいですか？

- A.** 使用できます。繊維どうしの摩擦、急激な温度差がないため問題ありません。

Q10 全自動洗濯機の脱水は設定が1分からなので、10秒という時間設定ができません。どうしたらよいですか？

- A.** 回転が一定になってから10秒後に手動で停止させてください。洗濯機により異なりますが、一時停止のボタンを押すなどして脱水を停止させてください。

**Q11 洗濯機の「ドライマークコース」、
「つけおき洗いコース」で洗えますか？**

- A.** 「ドライマークコース」……洗えます。
洗濯機の最も弱い洗い方(洗濯機メーカーにより、手洗いコース、ドライコース、おうちクリーニングコースなど呼び方はさまざま)を選び、洗濯機の取扱説明書にしたがいお洗濯してください。
「つけおき洗いコース」……洗えません。
つけおき洗いコースはひどい汚れを落とすためのコースです。衣料が水の中で動いてしまい縮みや型くずれの原因になります。また、「送風乾燥」「乾燥」コースは使わないでください。

Q12 洗濯してもはっ水・防水加工の効果はわかりませんか？

- A.** 洗濯により「はっ水・防水機能」が低下する恐れがありますので、洗濯後は再度はっ水・防水加工を施してください。

サンスター株式会社

〒569-1195 大阪府高槻市朝日町3-1

商品のお問い合わせ 0120-008241

<http://jp.sunstar.com>